

【取組内容①】 学習活動支援ソフト等を活用した主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践

【展開場面3】 カメラ機能を活用することで、他の班とも考えを共有することができます。



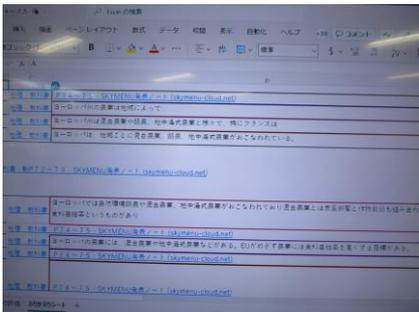
【展開場面4】 自分の考えをわかりやすく表現するために、配信されている資料を編集しています。



【展開場面5】 級友と学び合いをしたり、黒板を使って全体共有をおこなったりして、更に学びを深めます。



【終末場面】 TeamsにExcelの「振り返りシート」を添付して配信することにより、リアルタイムで各自の振り返りを共有することができます。



Ⅲ 実践を通して

- ◇ 県外視察で学んだGIGA端末の効果的な活用に関する研修、学んだことを取り入れた授業実践、さらに公開授業など、研究主任を中心とした部会が積極的に情報を発信している。こまめに情報発信を行うことが活用のヒントとなり、自分なりに活用方法をアレンジするなど、教員のチャレンジの幅が広がっている。
- ◇ 授業での活用や学年の取組（1年生：小倉城下班別研修、2年生：修学旅行新聞など）でGIGA端末を活用する場面が増えている。生徒たちは他者との意見共有の場面や掲示物等の編集のしやすさなどで、端末の活用には有用性を感じているようである。



班別研修の取組（1年生）

音読の取組（国語科）



小倉織の授業（家庭科）